

宇都宮市 自転車のまち推進計画



だれもが自転車で “つながる” 自転車のまち宇都宮



Cycle City
Utsunomiya



宇都宮市自転車のまち推進計画後期計画の策定にあたり

宇都宮市では、全国に先駆けて自転車に注目し、平成14年度に「自転車利用・活用基本計画」、平成22年度に「自転車のまち推進計画」を策定したところであり、自転車走行空間の確保や宮サイクルステーションの整備など様々な取組を展開し、誰もが安全で快適に楽しく自転車を利用できる「自転車のまち宇都宮」の実現を目指してきました。

また、森林公園を舞台にしたアジア最高位の大会である「ジャパンカップサイクルロードレース」において、平成27年度には12万5千人という過去最高の観客数を記録するほか、プロサイクルロードレースチーム「宇都宮ブリッツェン」の躍進などにより、自転車に対する市民の関心が高まり「自転車のまち宇都宮」のブランド強化が着実に図られてきていると感じております。

このような中、現行の前期計画の策定から5ヶ年が経過し、安全意識の高まりなど自転車を取り巻く環境が変化してきていることから、安全利用の推進に加え公共交通との連携や広域的な周遊のツールなど、日常的な移動手段のほか、余暇活動としても幅広く事業の充実を図るため、「自転車のまち推進計画後期計画」を策定いたしました。

後期計画では、前期計画で掲げた「安全」「快適」「楽しく」「健康とエコ」の4つの施策の柱に加え、横断的に様々な事業を展開するため、「つながる」を新たな施策の柱として掲げました。

また、本市が目指す将来の都市像として掲げる「ネットワーク型コンパクトシティ」の形成の要となる「LRT」につきましては、官民連携の運営会社を設立するなど、本格的な整備に向けて大きく動き出したところであります。今後は、「つながる」の柱の下、LRTやバスなどの多様な交通手段との連携を強化する自転車ネットワークを設定し、子どもから高齢者まで快適に移動できる「交通未来都市 うつのみや」の実現を目指し、誰もが自転車をつながり、全国に誇れる「自転車のまち宇都宮」を推進してまいります。

結びに、計画策定にあたり、自転車利用に関する市民意識調査やパブリックコメントに御協力いただいた市民の皆様、また、貴重な御意見や御指導をいただきました「宇都宮市自転車のまち推進協議会」委員の皆様には深く感謝申し上げますとともに、これからの計画推進に一層の御理解、御協力を賜りますようお願い申し上げます。

平成28年 3月

宇都宮市長 佐藤 栄一



目次

第1章 計画の概要	1
1.1 計画策定の趣旨	1
1.2 計画期間	1
1.3 計画の位置付け	2
1.4 計画の構成	3
第2章 現行計画の取組と評価	4
2.1 前期計画の概要	4
2.2 前期計画の取組状況と評価.....	6
2.3 前期計画の総括	23
第3章 自転車を取り巻く環境	25
3.1 自転車を取り巻く環境の変化.....	25
3.2 本市における動向	30
第4章 現況課題に対する後期計画の方向性	37
4.1 自転車施策に関わる現況課題と後期計画の方向性.....	37
4.2 施策体系の改定	39
第5章 後期計画の基本方針	40
5.1 基本的な考え方	40
5.2 基本理念	40
5.3 基本目標（施策の柱）	41
5.4 「自転車のまち宇都宮」における自転車利用のイメージと期待される効果.....	42
第6章 施策事業の展開	43
6.1 施策の体系	43
6.2 施策事業の展開イメージ.....	44
6.3 各施策の内容	45

第7章 重点事業の概要	58
7.1 自転車走行空間のさらなる延伸.....	58
7.2 交通安全教室の充実.....	68
7.3 中心市街地における駐輪環境の充実.....	69
7.4 ジャパンカップサイクルロードレースの開催及び周辺環境の向上.....	71
7.5 宮サイクルステーションの充実.....	72
7.6 自転車のまちのPR.....	74
7.7 自転車通勤の促進.....	75
7.8 交通結節点における自転車利用の促進.....	77
7.9 サイクリングロードの整備延伸.....	79
第8章 計画の推進に向けて	82
8.1 事業スケジュール.....	82
8.2 評価指標.....	83
8.3 推進体制・進行管理.....	84
付属資料編	
資料1 自転車利用のメリット.....	1
資料2 自転車を取り巻く数値の変化.....	6
資料3 検討の過程.....	11
資料4 自転車利用に関する市民意識調査.....	13